事　業　評　価　書

補助事業名	令和６年度小松飛行場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：市内小中学校・義務教育学校外国語教育推進事業）
補助事業者名	小松市長
実施場所	市内小中学校・義務教育学校
補助事業実施の成果の目標	市内小中学校及び義務教育学校の児童、生徒が外国人とのふれあいを通して国際社会で活躍できるコミュニケーション能力を育成する。 数値目標：外国人とのコミュニケーションがとれたと実感する割合 60%
補助事業の内容	市内中学校、義務教育学校に外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置。
補助事業の始期と終期	基金の造成　令和４年度～令和７年度 基金の処分　令和４年度～令和８年度

事業費及び交付金額

基金造成額				基金処分額（円）	基金残額（円）	継続事業に要した額（円）
年度	交付金（円）	運用益（円）	計（円）			
4	40,000,000	1,135	40,001,135	26,612,197	13,388,938	26,612,197
5	40,000,000	1,343	40,001,343	38,046,499	15,343,782	38,046,499
6	40,000,000	34,349	40,034,349	39,892,554	15,485,577	39,892,554
計	120,000,000	36,827	120,036,827	104,551,250	15,485,577	104,551,250

補助事業の成果及び評価並びに関係住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 中学２年生のアンケート結果では88.1%の生徒がＡＬＴとのコミュニケーションが楽しいと回答しており、ＡＬＴ同士の情報共有で得たものが生徒とのコミュニケーションに活かされ、また、生徒が休み時間や課外授業においてもコミュニケーションを図ろうとする意欲にも繋がった。 質問紙調査結果： ＡＬＴと英語でコミュニケーションができたと思う割合：71.8% 〔地域住民への周知の実施状況〕 ホームページに掲載
事業の改善策及び今後の対応	今後も、ＡＬＴと生きた英語に触れる機会を通してコミュニケーション能力の育成を図る。また、令和５年度から実施している英語検定料の助成により、生徒の英語力及び学習意欲の向上を図る。
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無